

IV. 主要指標の見通し

1. 人口

わが国の総人口は、戦後一貫して増加してきましたが、今後は2006年をピークに減少していくものと予想されています。三町においては、昭和30年の合併以来、横這いもしくは微減傾向が続き、平成12年には41,465人になりました。

国立社会保障・人口問題研究所の小地域簡易将来人口推計システムによると、新市においても、減少傾向が続くものと予想されます。平成7年から平成12年までの人口の変化が、今後も続くものとする、平成27年には37,892人が見込まれます。

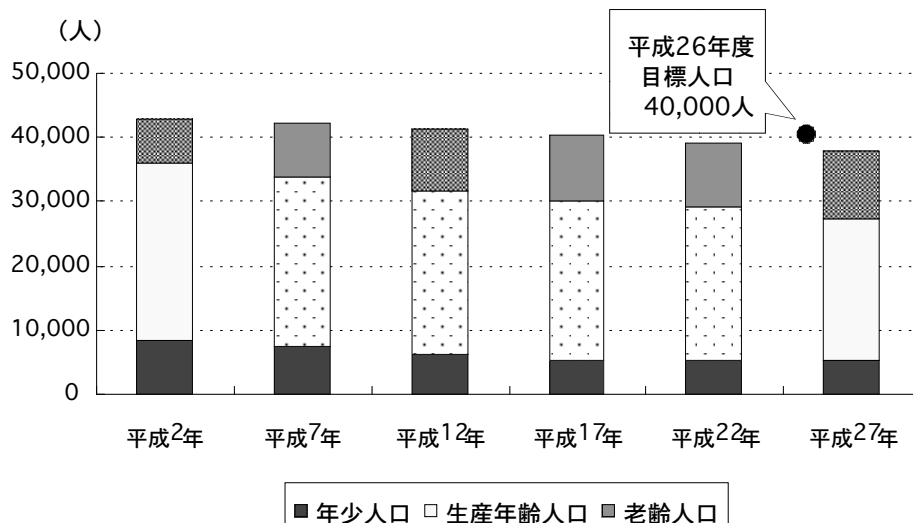
しかし、新市においては、雇用の場の確保、子育て支援などの教育や福祉・介護の充実、住環境の整備などの施策を総合的に推進することにより、平成26年の目標人口を40,000人と設定します。

表IV-1-1 人口の推移及び目標

(人)

年		平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成26年
区分					(推計)	(推計)	(推計)	目標人口
年齢別人口	年少人口	8,465	7,369	6,061	5,252	5,137	5,223	5,500
	生産年齢人口	27,598	26,584	25,665	24,993	24,037	22,039	23,300
	高齢人口	6,895	8,437	9,727	10,187	10,101	10,632	11,200
	年齢不詳	32	0	12	0	0	0	0
	計	42,990	42,390	41,465	40,434	39,276	37,892	40,000

図IV-1-1 人口の推移及び目標



資料：国立社会保障・人口問題研究所「小地域簡易将来人口推計システム」

2. 世帯

三町の世帯数は、平成12年には10,884世帯で、毎年わずかながら増加する傾向があります。人口が減少傾向にあるのに対し、世帯数が増加傾向にあることは、核家族化の進行等を反映したもので、今後もこの傾向は続くものと予測されます。平成26年の目標人口40,000人では、世帯数を12,100世帯と想定します。

表Ⅳ-1-2 世帯数の推移及び目標

年 区分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年 (推計)	平成22年 (推計)	平成27年 (推計)	平成26年 目標世帯数
世帯数 (世帯)	10,095	10,318	10,884	11,025	11,312	11,598	12,100
世帯当たり人員 (人)	4.3	4.1	3.8	3.7	3.5	3.3	3.3

※本推計では、昭和55年から平成12年までの世帯数の推移をもとに、回帰式を用い、将来の世帯数の推計を行っています。

図Ⅳ-1-2 世帯数の推移及び目標

